

# 実務者のための「既存鉄骨造体育館等の耐震改修の手引と事例」講習会開催のご案内

主催：（財）日本建築防災協会、（社）建築研究振興協会

- 災害時に避難場所となることが想定される体育館等の耐震改修のニーズは今後ますます増大します。  
鉄骨造体育館は、生徒等を含めた多数の人々が一時に使用していることがあることや震災時等には住民の一時避難場所としての使用が想定されることなどから、高い耐震性能が要求されています。しかし、耐震性能を満足している体育館は必ずしも多くなく、耐震診断の結果、耐震性が不足している体育館は、適切な耐震改修を行い耐震性能を高める必要があります。建築物の耐震化が強く叫ばれ、公共建築物の耐震性の公表が課題となっている今日、体育館等の耐震改修のニーズは今後ますます増大していきます。
- 非構造部材等の耐震性も重要  
体育館では大地震時はもちろんその後の余震等も考慮した天井、ガラス、照明・放送設備等の非構造部材等の耐震対策も重要です。
- 実務者のための「既存鉄骨造体育館等の耐震改修の手引と事例」  
このようなニーズに応えるため、鉄骨造体育館等の耐震改修を適切に実施するための具体的な手順と方法を事例で示し、非構造部材の対策も含めた、実務者のための「既存鉄骨造体育館等の耐震改修の手引と事例」（編集委員長：高梨晃一東大名誉教授）を主催団体で発行しています。この「手引と事例」は体育館の他、鉄骨工場、鉄骨倉庫等にも適用できるものです。本書をテキストに、下記により講習会を開催します。
- この「手引と事例」は、「耐震改修促進法のための既存鉄骨造建築物の耐震診断および耐震改修指針・同解説」及び文部科学省の「屋内運動場の耐震性能診断基準」にも対応できるよう作成されています。
- 体育館等の耐震改修実施の際は、是非この「手引と事例」を参考に実施してください。
- 耐震改修実施済みの体育館等も是非この「手引と事例」で非構造部材等の再度チェックを！
- 建築技術者、建築行政・営繕・教育委員会施設担当者の方々には是非受講してください。  
建築技術者、建築行政・営繕・教育委員会施設担当者をはじめ、建築物の設計・施工・監理、維持保全業務に携わる皆様には、ぜひこの機会に受講され、鉄骨造体育館等の実務的な耐震改修技術を習得され、今後の業務に活用されますようご案内いたします。
- 本講習は建築士会継続能力開発（CPD）制度認定講座（6単位）の予定です。
- 受講修了証交付  
講習受講者には、本講習会を受講したことを証する受講修了証を交付いたします。

## 記

### 1. 開催地・期日・会場・定員

開催地	期 日	会 場	定 員
東 京	平成 21 年 5 月 26 日(火)	科学技術館 地階サイエンスホール 千代田区北の丸公園 2-1 TEL. 03-3212-8485	300 人
大 阪	平成 21 年 5 月 28 日(木)	大阪YMCA会館 2階大ホール 大阪市西区土佐堀 1-5-6 TEL. 06-6441-0893	200 人

（注）駐車場は用意しておりませんので、車でのご来場はご遠慮下さい。

**主 催** （財）日本建築防災協会、（社）建築研究振興協会  
**後 援** 国土交通省、文部科学省、東京都、大阪府、日本建築行政会議、（社）日本建築学会、（社）日本  
**（予定）** 建築士会連合会、（社）日本建築士事務所協会連合会、（社）日本建築構造技術者協会、（社）建築業協会、（社）文教施設協会、（社）日本鋼構造協会、（社）建築・設備維持保全推進協会、（社）東京建築士会、（社）大阪府建築士会、（社）東京都建築士事務所協会、（社）大阪建築士事務所協会、（財）東京都防災・建築まちづくりセンター、（財）大阪建築防災センター、既存建築物耐震診断改修等推進全国ネットワーク委員会、建築物防災推進協議会

## 2. プログラム（予定）（都合により一部変更となる場合があります。）

1. 開会挨拶（開催地建築行政担当課長等）（9：50～10：00）
2. 鉄骨造体育館等の地震被害例と耐震診断・耐震改修の考え方及び総則（10：00～12：00）  
東京電機大学工学部建築学科教授 宇田川 邦明
3. 補強設計の原則、補強建物の耐震性能の評価と判定及び非構造部材の対策（13：00～15：00）  
(財)日本建築防災協会技術アドバイザー・(株)堀江建築工学研究所長 太田 勤
4. 補強方法と補強部材の設計及び補強設計例（15：10～16：40）  
(有)アフェクト設計代表取締役 岡田 健良
5. 受講修了証交付（16：40～17：00）

## 3. 受講料（テキスト代別。消費税込み）

12,000円

## 4. テキスト及びテキスト代

「実務者のための既存鉄骨造体育館等の耐震改修の手引と事例」（2005年7月20日発行初版第2刷）

（発行：（財）日本建築防災協会・（社）建築研究振興協会、監修：国土交通省住宅局建築指導課）

講習会受講者特価：7,000円（消費税込み）（定価：8,000円）

※受講者1名につき1冊までのご購入とさせていただきます。

## 5. 申込み方法（できるだけインターネットでのお申し込みにご協力をお願いします）

### ①インターネットの場合

下記へアクセスし、手順に従って申し込みください。

<http://www.kenchiku-bosai.or.jp/workshop/index.html>

### 申込手順

- ①インターネットから受講者情報を入力してください。
- ②受講者情報を確認し送信してください。
- ③入力いただいたメールアドレスに受講受付票が返信されますので、印刷し内容をご確認ください。
- ④お申し込みから3営業日以内に「6.銀行振込口座」の銀行口座へ受講料およびテキスト代（テキスト購入希望者のみ）をお振り込み下さい。  
（振込みの際は、振込者（氏名・社名）の前にアルファベット（AまたはB）と受講受付票番号の下3桁を入力してお振り込みください。また、受付の都合上、受講料は受講者ごとにお振り込みください。）

### ②郵送の場合

申込用紙（1名につき1枚。コピー可）に記入し、①事前に受講料及びテキスト代（テキストは希望者のみ）を「6.銀行振込口座」の銀行口座へ振込みした受領証のコピーを申込書下部に貼付し、②下記申込先宛郵送してください。FAXにて、受講受付票及び会場案内図を送付いたします。

## 6. 銀行振込口座

口座：三菱東京UFJ銀行 虎ノ門中央支店

普通 5562631

(財)日本建築防災協会 サイコニックホウサキョウカイ

## 7. 申込先、問合わせ先

(財)日本建築防災協会 鉄骨体育館講習会係 TEL03-5512-6451

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-3-20 虎ノ門YHKビル8F

## 8. 申込締切 平成21年5月19日（火）必着。ただし、締切日前でも定員に達し次第締め切ります。

### 【ご注意】

- ①振り込み手数料はご負担ください。領収書は銀行振込の受領証にかえさせていただきます。
- ②定員に達して受講をお断りする場合を除いて、既納の受講料は返金いたしません。

**実務者のための「既存鉄骨造体育館等の耐震改修の手引と事例」講習会  
受講申込書(郵送申込み用)**

フリガナ	生年月日	受講希望会場
受講者氏名	西暦 年 月 日	東京 ・ 大阪
連絡先 勤務先 ・ 自宅 (いずれかに○印を付けてください) 〒□□□-□□□□ TEL. ( ) (内線 ) FAX. ( ) 都・道 府・県		
勤務先名		
勤務先部課名		

	摘 要 (1か2のいずれかに○印を付けてください)	金 額
受 講 料		12,000円
テ キ ス ト	1 購入する 「実務者のための「既存鉄骨造体育館等の耐震改修の手引と事例」」 (2005年7月20日発行初版第2刷) 講習会受講者特価：7,000円(消費税込み) (定価8,000円) ※受講者1名につき1冊までのご購入とさせていただきます。	円
	2 購入しない(当日持参する)	
合 計		円

※この申込書に記載された個人情報は講習実施に関する必要な書類等の作成、送付及び本講習の内容並びに耐震診断・耐震改修に関する情報の送付に使用します。それ以外の目的には使用いたしません。

**銀行の振込受領証のコピーを貼付**

--